OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	日本語・日本文化 第25号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 1999, 25
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21481
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

執筆者紹介（掲載順）

平尾　得子	本センター講師
岩崎　　卓	光華女子大学講師 本センター非常勤講師
河村　光雅	本センター非常勤講師
瀬戸　健寿	本センター非常勤講師
長谷川貴之	本センター非常勤講師

編集後記

本センターの予備教育プログラムに国費学部留学生コース（1年制）が開設されたのは平成3年4月のことである。当初20余名だった学部生も、今では73名を数える。来年度は88名の、そして平成12年度には100名の受け入れを予定する。

このような学部留学生の急激な増加は、それまで大学院予備教育を中心としていたプログラムを抜本的に見直す契機となった。学部留学生の予備教育は、進学大学での学習に円滑に移行させるための橋渡し的機能を核として持たねばならない。

今号（25号）では、日本語学、日本語教育関係の研究論文が各1点、研究ノートが3点の計5論稿を掲載することができた。その中、巻頭の平尾論文は、高度な専門的知識を有しない学部留学生が大学教育において直面する講義聴解（Academic Listening）の問題に焦点をあてた研究であり、また、長谷川ノートは数学予備教育のあり方を模索するものである。いずれも本センターで進捗中の「学部移行期カリキュラムの整備」や「諸外国における中等教育の教科書と教材に関する調査研究」をその出発点とする。委員会組織やプロジェクトチームとしての地道な活動が、関係教官各位のさらなる研究業績を生み出す素地になるよう祈念する次第である。

(H.K)

『日本語・日本文化』投稿規定

1．資格：本センター所属教官（非常勤を含む）及びセンター学術出版委員会において適当と認められた者。
2．内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告。
3．体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
4．要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
5．採否：原稿の採否はセンター学術出版委員会（『日本語・日本文化』編集委員会）が決定。

編集委員

加藤　均　　岩井康雄　　平尾得子

日本語・日本文化　第25号

1999年3月31日　発行

編　集　大阪外国語大学
発　行　留学生日本語教育センター
〒562－8558
箕面市粟生間谷東8－1－1
電話（0727）30－5459
FAX（0727）30－5074
印　刷　中西印刷株式会社